

1. 5月1日の行程

GFA, 大使館、JICA,カンティプール病院、タメル、飛行場、CFJ、金曜集会、検討会。

2. 知り得た情報

1) GFA

被災の激しかった地域を3つに分け、救援活動を開始している。食料品調達のため、資金援助開始。

2) 大使館、カンティプール病院

エベレストトレッキングの途中、ベースキャンプ近くで雪崩に会い、下腿骨折の女性、早く日本に戻り治療ができるよう、本人、病院、保険会社、旅行会社、大使館が協議中。外固定をして数日中にでも帰国の方向。

3) JICA

4月30日、政府SWC（社会保健省）でINGOを集めてのミーティングあり、席上SWCの方から

* 今回の救援活動に限り、SWCからの活動許可でなく、直接地域の郡事務所に登録し許可をもらうように、SWCにはWebで報告を。

* 救援物資に関しても書類を出せば免税扱いにする。

* 物資の置き場に困るようであればSWC内の倉庫を使用するかまわない。

4) CFJ (Child Fund Japan)

前のCCWAが名前を変え、今回地震で甚大な被害を受けた郡の一つ、シンドバルチヨークでここ数年、(その前は奨学金事業とオオカルドゥンガ病院の公衆衛生事業を応援) 子供たちへの養育、奨学事業をしてきた日本のキリスト教系NGO。現在の代表田中さんは昔からの知人。

* 数日前から活動を開始したばかり。

* シンドバルチヨークで活動するINGOが連絡し、活動地域の割り振りと仕事の割り振りをした。CFJは4つのVDCを担当。保健を除く食糧援助、住宅援助、子供への支援などを予定。

* 月曜日、日本からも職員が来て、今後の方向を再協議する。

* 食料を積んだトラックの第一陣が今日現場に着き、明日から順次、被災した方々への配給を開始する。

5) タメル

銀行が休みで、両替のためタメル地区へ。両替商も空いているのはまばら。銀行で多額の現金を用意してくれず、大口の両替は難しい。それでも何軒かを回り100万円近くを換えてもらう。昨日同様店も8割がた閉まっている。

3. 救援検討会

金曜集会の後、今日日本から到着した福島医大救急部の伊関教授、矢野医師、山本看護婦、土肥医学生などを交え、今後私たちは具体的に何をするか検討会を持つ。

私が今までに知り得た情報を話し、明日5月2日、朝から被災の大きかったシンパルチョークをみんなで訪問することにする。

その後の予定は、これも被災の大きかったラムジュン郡の郡庁所在地ベシサホールあり、HDCS が運営するラムジュン病院で活動をする予定。ただし、明日の様子を見て再検討することにする。